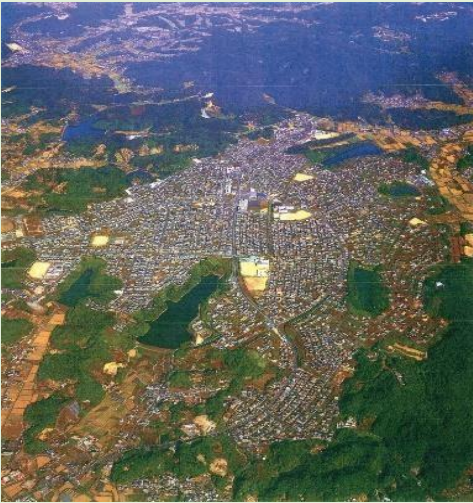


## 桜が丘に緑と水を

中西 卓



桜が丘の面積は赤磐市全域の 2.1%に過ぎないが、住民は 1 万 8 千人を超え 市人口の 40%強を占める大きな団地である。団地造成後 40 年余り経って空地が 減り住宅団地としては完成に近いが、3 ヶ所の近隣公園の他は緑が少なく街中に水面が皆無で潤いがないために住環境が満足とは言い難い。団地造成時 周辺に治水と農業用水のために多くの池を設けその周りが保健保安林に指定されて元来の自然環境は十分のはずが、長年の放置で密林状態になっていて多くの池は近づくこともできない。

赤磐市野生動植物調査会は生物多様性の見地から自然観察する市民団体であるが、中心メンバーは学者や地元の各分野・地域で自然観察を指導してこられたアマチュア専門家である。ミシシippアカミミガメが民潤池の蓮を全滅させたことや昆虫の擬態に興味をおぼえ、小学生の自然観察に仲間入りするのも楽しく 門外漢の私が参加しているのは未知の世界への好奇心からであるが、会の趣旨からいえば足手まといの異分子である。一方、会員の中で桜が丘住民は私だけなので、先生方の視野外にある桜が丘の案内役をつとめてホットスポットの予備調査になればと考えた。私ができることはクロスバイクで駆ける、写真を撮る、27 年の居住で得た町内会や知人の伝手と土地勘くらいのことである。手始めに本稿をご覧いただいて、先生方のご指南を仰ぎたいと思う。折しもこの 6 月 二井大池の太陽光発電計画が判明して近隣住民に問題を提起しているとき、早速にガン・カモの観察記録を提供いただき役立たせてもらえたのが有難かった。

先だっのホットスポット選定段階で先生方各自が提案されたのを代表の波田先生が評価された。選外のつもりで出した私の提案について先生から「面白い」とコメントいただいたのが次の二つである。

1)桜が丘団地の周りにある大小 11 の池：各池について 魚、鳥、水草、周辺の樹木、近辺住居などを毎月堰堤から観察して記録する。先生方から動植物の観察項目を教示願う。後掲地図の①～⑪

2-1) 西 10 丁目と東 6 丁目の背後にある未利用地：旧山陽町の墓地用地とそれに連なる東 6 丁目の山林で、地図のⒶエリアを“樹林墓地”に

眠っている自然を活かし社会的ニーズにもかなうと考える。

2-2) 西 10 丁目の外周道路と神田集落への道路に挟まれた窪地：地図のⒷエリア（電波塔 2 基が目印）であるが“自然観察公園”を目指す。

ここはカブトムシなどが集まる“樹液酒場”ではないかと思う。更に、近くの⑤神田池は渡り鳥の飛来が見受けられるなどⒷと併せた観

察対象と考えられる。（藤崎先生からいただいたヒント）

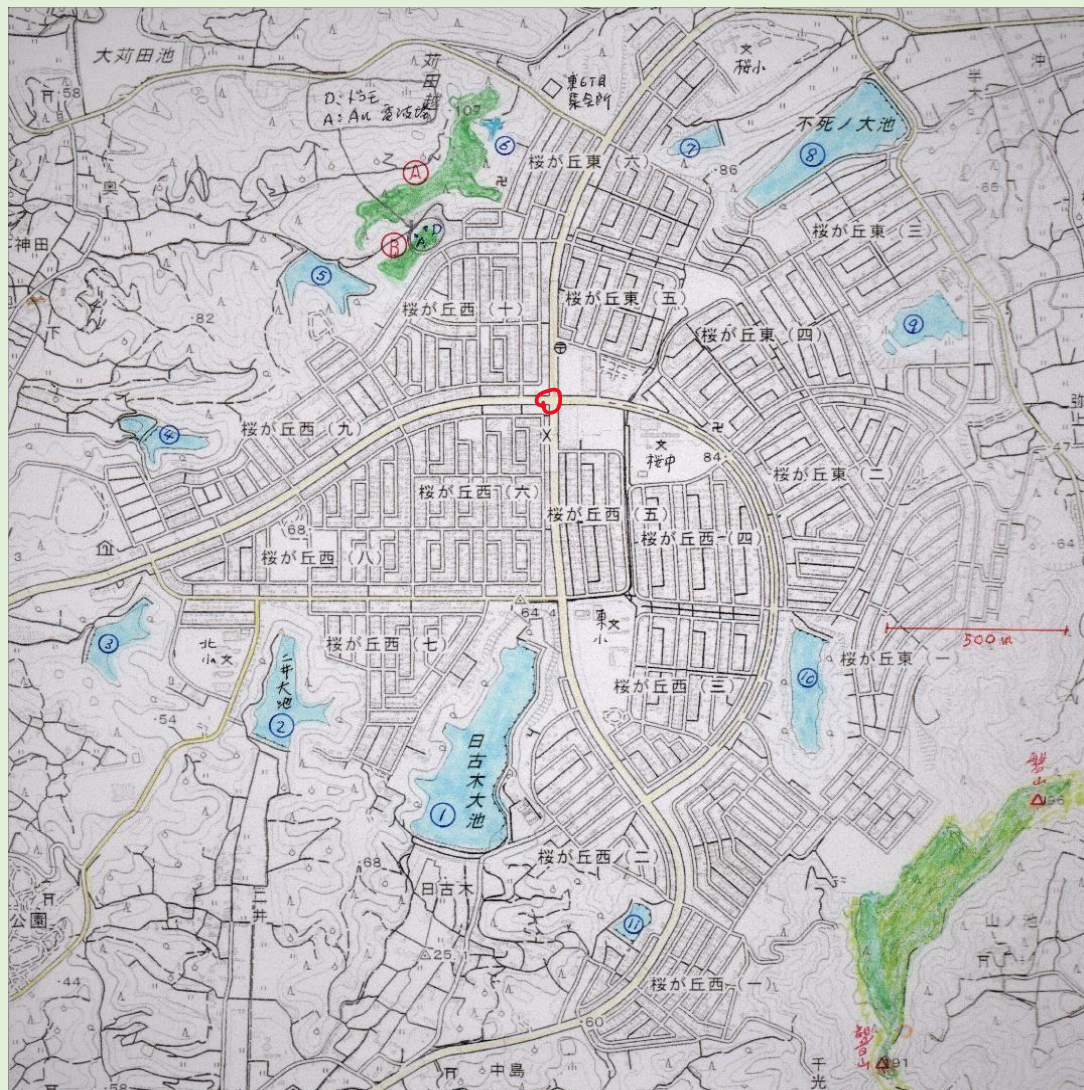
Ⓐ、Ⓑ エリアは市有地のため市役所に届け出ると、地元町内会の了解と協力を得る必要がある。

桜が丘団地を造成した大和ハウスは計画時に周りの池と山林をどのように考えていたのか、行政が保健保安林を指定してもそこに手が届かなかったのか、40 余年後の現状を見てこのままいつまでも放っておけない気がする。団地東側の荒廃林を‘あかいわ美土里の和’が豊かな自然の磐山～観音山に蘇らせたことから、西北側の未利用地にも陽を当てたい。周りの池も水辺への路があれば親水公園になる。池畔の僅かな住人に借景を独り占めさせる手はない。動植物の名さえ知らない私が池巡りを試みる、山が色づけば Ⓐ Ⓑ に踏みこんでみようと思う。先生方にご指導をよろしく願いたい。

甚だ私的な見解であるのと具体性に欠けるのを承知しているが、誰も言わないことを表に出さなければ 折角の恵まれた自然環境が放置されてよいのかとの思いからである。この拙稿がホットスポット選定の前段階になれば幸いである。

次に掲げる地形図で 11 の池と A、B の位置・大きさを推量いただきたい。

添付図 桜が丘 (国土地理院の地形図 万富 1/25000 を拡大)



- ①日古木大池 ②二井大池 ③片井池 ④津崎池 ⑤神田池 ⑥六番池 (仮名)  
⑦源坂池 ⑧不死ノ大池 ⑨和田池 ⑩西谷池 ⑪草場池

○は桜が丘中央を示す

(終)

記事 1) 面積：桜が丘西 273.0 ha 桜が丘東 173.2 ha (西谷池 和田池のみ含む) [市・都市計画課  
赤磐市 209.36 km<sup>2</sup> [県・市町村ハンドブック 平成 31 年版]

2) 人口 2020 年 10 月 1 日現在：桜が丘西 11,257 桜が丘東 7,214 赤磐市 44,006 [市・市民課]

## 樹林墓地について（提案）

赤磐市に公設墓地がなく火葬施設もない今の状況をいつまで放っておくのか。

先だって市役所環境課から「墓地について」アンケートがあったが、この機会に私の考えを述べるのでご批判いただければと思う。

墓地の考え方：玉野市・深山公園へのハイキングで、山上から振り返ったときに窪地を隔てた山に霊園の石碑が並ぶのを見て折角の眺望が台無しだった。宇野港辺りにアートを展開する今の玉野市では考えられない、当時樹林墓地にする考えがなかったのかと思う。「〇〇家先祖代々の墓」のように刻んだ石碑を囲む区画で構成するのが従来の墓地であったが、寺院に納骨したあとの遺灰を山や川・海に散骨しても咎められない時世である。永代供養が若い世代に負担がかかるなども時代にそぐわなくなっている。殊に団地住民は耕作地を持たないのでこれまでの墓地と異なる見方なのではないか。

樹林墓地を提案：旧山陽町が墓地用地に買収した桜が丘西 10 丁目背後の山林が 20 余年放置されている。これに連なる東 6 丁目西側山林の一角が自然林のままであるが、尾根筋の地形を大きく変えずに自生の樹木を活かした樹林葬、更には樹林墓地の公園にすれば市民の憩いの場にもなる。静かな環境なのに近くに県道が通じていてアクセスが良い。最小限の土を動かせば造成できるので建設費が少なくて済む。地形を利用して小規模の火葬場と斎場を造れば墓地としての形も整う。麓の池から必要な水を汲み上げるのも容易。

かつて墓地計画が分かったときに西 10 丁目住民から猛烈な建設反対運動が始まったが、石碑が並ぶ墓地を想像したからだと思う。20 余年経って世代が代わり、自然環境を活かす計画とわかれば理解が得られるのではないか。

市内には他所にも墓地の候補地があると思うが、旧来地区ではそれぞれの集落近くに墓地があるのでニーズがない。一方、団地では遠隔地にある先祖の墓を近くに移したいと思う住民が多いはずである。

桜が丘東 1 丁目の東南にある観音山（千光寺の裏山）に石仏など古来の遺跡があるが、ここと団地を挟んで対称の位置に樹林墓地公園が実現すれば、桜が丘のイメージに重みが出てくるのではとったりもする。山陽団地は中心部に弥生公園があり幾つかの古墳が遺跡として残されているのが好ましい。裏面の該当エリア図と桜が丘全体の地図をご参照のうえ、私の提案をご理解いただければ幸いです。

2021. 8. 15

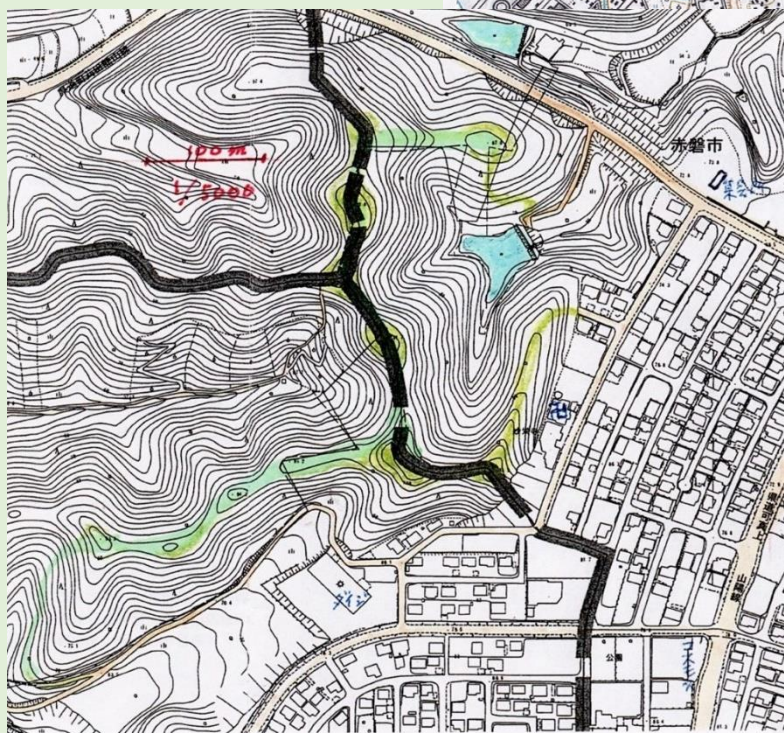
桜が丘西 8-25-8 中西卓

TEL : 086-608-1321

E mail: [naktak@sky.megaegg.ne.jp](mailto:naktak@sky.megaegg.ne.jp)

8/20 環境課（墓地担当岸本氏）に提出

2022.3.1 高津 5 期生 HP に投稿（KOZOOM サロン 2/28 のテーマ「身辺整理」に関連して）



黒の鎖線は旧3町(平坂・能山・山陽)の町境を示す